

毛細血管ラボ・社会実装コンソーシアム オープンセミナー

2020年12月10日(木) 14時00分～16時05分

参加無料

WEB開催 (zoomを使用します)

健康・加齢・美容における毛細血管の役割を知ろう!!

1 毛細血管の老化・劣化と加齢関連疾患の関係 ―ゴースト血管による治療抵抗性―

—— 高倉 伸幸 大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 教授 / 大阪大学 総長補佐

2 緑内障診療における爪床毛細血管測定の利用の可能性

—— 中澤 徹 東北大学大学院 医学系研究科 神経・感覚器病態学講座 眼科学分野 教授

3 毛細血管スコープの研究および社会実装の現状と構想

—— 武野 團 あっと株式会社 代表取締役

4 毛細血管ラボ・社会実装コンソーシアムの立ち上げについて

—— 国松 武史 NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事・事務局長

参加お申込

近畿バイオインダストリー振興会議 WEBサイトよりお申込ください

▶ <https://kinkibio.com>

主 催

NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議 (担当: 国松・大嶋)

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4丁目8番4号 井門瓦町第2ビル 3F (TEL) 06-4963-2107 (FAX) 06-4963-2127
(EMAIL) moshima@kinkibio.com

プログラム

1 毛細血管の老化・劣化と加齢関連疾患の関係 ーゴースト血管による治療抵抗性ー

加齢や劣悪な生活習慣に生じる血管障害としては、動脈硬化に注目が集まっていた。一方で、酸素・養分の組織供給で組織の恒常性維持に関わる毛細血管においては、老化による影響について研究対象外であったのが事実である。しかし、最近、様々な加齢関連疾患が、毛細血管の劣化(我々はゴースト血管と呼んでいる)によりもたらされていることが判明しつつある。本講演では、ゴースト血管化がいかに、様々な疾患の治療抵抗性を生じさせるかについて説明したい。

2 緑内障診療における 爪床毛細血管測定の実用可能性

緑内障は成人の中途失明原因第一位の眼疾患で、現在も患者数が増加している。自覚症状が弱いことから、健診などでの緑内障スクリーニングによる早期発見が重要となる。多因子疾患であり、高血圧や低血圧、冷え性、偏頭痛など全身の血流不全が原因となり発症することもある。我々が健診センターで爪床毛細血管を測定した結果、非緑内障患者と緑内障患者では爪床毛細血管の長さなどのパラメータに大きな差がみられ、爪床毛細血管測定を活用し緑内障を発見できるだけでなく、全身血流不全が関与する緑内障を層別化できる可能性が示唆された。本講演では、緑内障診療における爪床毛細血管測定の実用可能性について紹介する。

3 毛細血管スコープの研究および 社会実装の現状と構想

これまで毛細血管スコープを大学など研究機関や薬局など健康相談を実施している機関へ装置を提供してきた。大阪大学医学系研究科との共同研究成果により毛細血管画像数値化システムを開発し、定量化が簡易的にできるようになった事で、新知見・新しい取り組み事例が増え、社会への実装が進んできている。より多くの研究者の先生方や関連する業界の方々と共に新産業を創造する取組として発展させていく為にその構想と計画案を提言する。

4 毛細血管ラボ・社会実装コンソーシアムの 立ち上げについて

毛細血管ラボ・社会実装コンソーシアムの立ち上げに際し、多くの研究者や企業に参加いただけるように、事務局を担当する近畿バイオインダストリー振興会議より、その背景、意義、運営体制・活動計画及び参加方法等を説明する。

タイムテーブル

14:00	挨拶	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事長 田中 隆治
14:05	講演①	大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野 教授 高倉 伸幸
14:45	講演②	東北大学大学院 医学系研究科 教授 中澤 徹
15:25	講演③	あっと株式会社 代表取締役 武野 團
15:45	講演④	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事・事務局長 国松 武史



参加費 無 料

申 込 <https://kinkibio.com/>

締 切 2020年12月9日〔水〕

お問い合わせ

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議〔国松・大嶋〕

TEL 06-4963-2107

E-mail moshima@kinkibio.com